

令和5年度第4回市民参加推進・評価会議 会議要旨

1 日時	令和6年2月20日（火） 午後1時30分～2時15分
2 場所	大和市役所会議室棟 203会議室
3 出席者	委員5人（長谷部 美由紀 委員（会長）、青木 俊介 委員、沓掛 大乘 委員、中丸 ちづ子 委員、平田 美智子 委員） 事務局4人（政策部長、政策総務課長他2人）
4 傍聴人数	0人
5 議題	（1）諮問 （2）議事 ①令和6年度市民参加手続の実施予定等について ②その他
6 議事要旨	・市長から「令和6年度市民参加手続の実施予定に対する総合評価について」の諮問が行われた。 ・会議資料に基づき事務局から説明を行い、答申内容をまとめるため、質疑応答及び意見交換を行った。
7 会議資料	・資料 1：令和6年度市民参加手続の実施予定 ・資料 2：令和6年度審議会等委員の公募実施予定 ・資料 3：今後の市民参加推進・評価会議開催予定

【主な質疑等】

委員：前回実施した意見交換会を、今回は実施しないという施策がいくつかあるがどのような理由か。

事務局：意見交換会の実施を見送った施策については、前回の意見交換会で高校生など若い方の意見が参考となったことから、施策の当事者である小中学生など子どもに直接意見聴取をして意見を集めることで、意見交換会に代えるものなどがある。

委員：前回の意見交換会は平日に開催されたのか。参加しやすい工夫は行われていたか。

事務局：前は「市民討議会」という形式で実施しており、3000人に開催通知を送付し、希望のあった40人程度が参加したもので、休日に開催している。

委員：若い人の意見聴取という面では、インターネット上のオープン会議などを活用すると、気軽に意見を出しやすいのではないかと思う。

委員：一般的なマーケティング手法では、インターネットなどを通じてまずは多くの意見を集め、その中で深く掘り下げたい内容に限定して意見交換会などの対面での意見聴取を行うことが多い。意見交換会の目的を明確に示すことで、主旨を理解した関心の高い方が参加する傾向にある。多くの意見を集めた結

果、必要がなければ意見交換会は開催しなくても良いが、そのような方法も検討してもらいたい。

委員：新たな総合計画の策定にあたって、「あなたの考える未来のやまと」というアンケートをしているが、いきなり未来についてたずねるのではなく、まずは今すでにある大和市の魅力を集めて、その魅力をどのように未来につなげていくのかを聞くほうが、意見を出しやすいのではないかと思う。

事務局：マーケティング手法や総合計画策定のためのアンケートについて、担当課に情報共有させていただく。

委員：将来のことを考えるときに、まずはどんな素材を持っているかを確認することが重要である。そのような前提をしっかりと持つことで、実現可能な提案ができるようになるので、全庁的にそのような考え方ができると良い。

委員：総合計画の策定については、10月に意見交換会と意見公募手続を予定しているので、その前に大和市の魅力について意見聴取をできると良いと思う。市長が代われれば必ず総合計画も新しく策定しなおすものなのか。

事務局：総合計画については、すべての施策のベースになる計画であるため、市長の考えのもと新たに策定することとなった。

会長：総合計画の策定にあたって、たくさんの意見が集まると思うが、一見単独では実現が難しそうな意見であっても、ほかの意見との関連を総合的に考慮しながらまとめることで、より良い総合計画になるように市政に反映してもらえればと思う。

以上